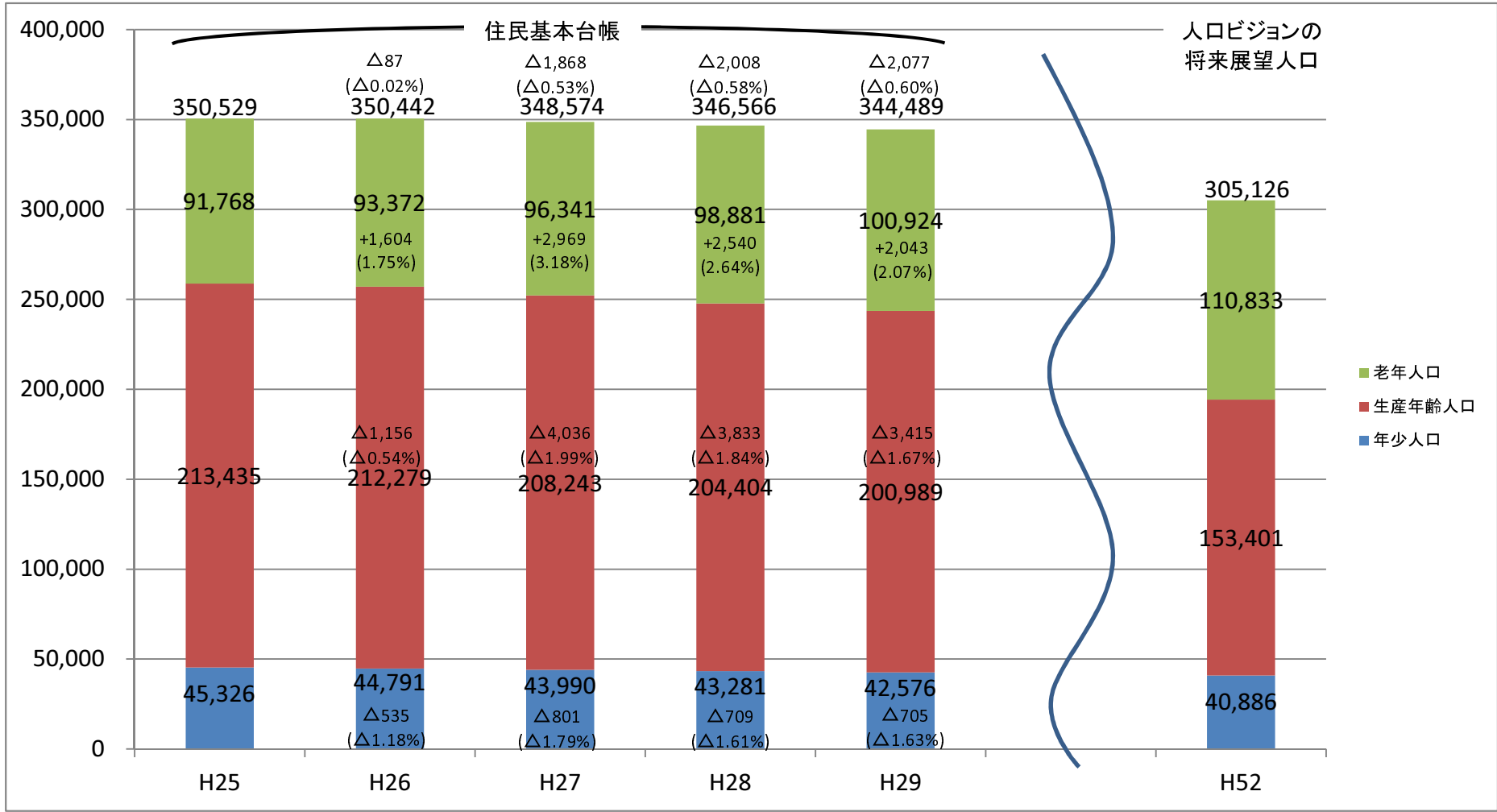


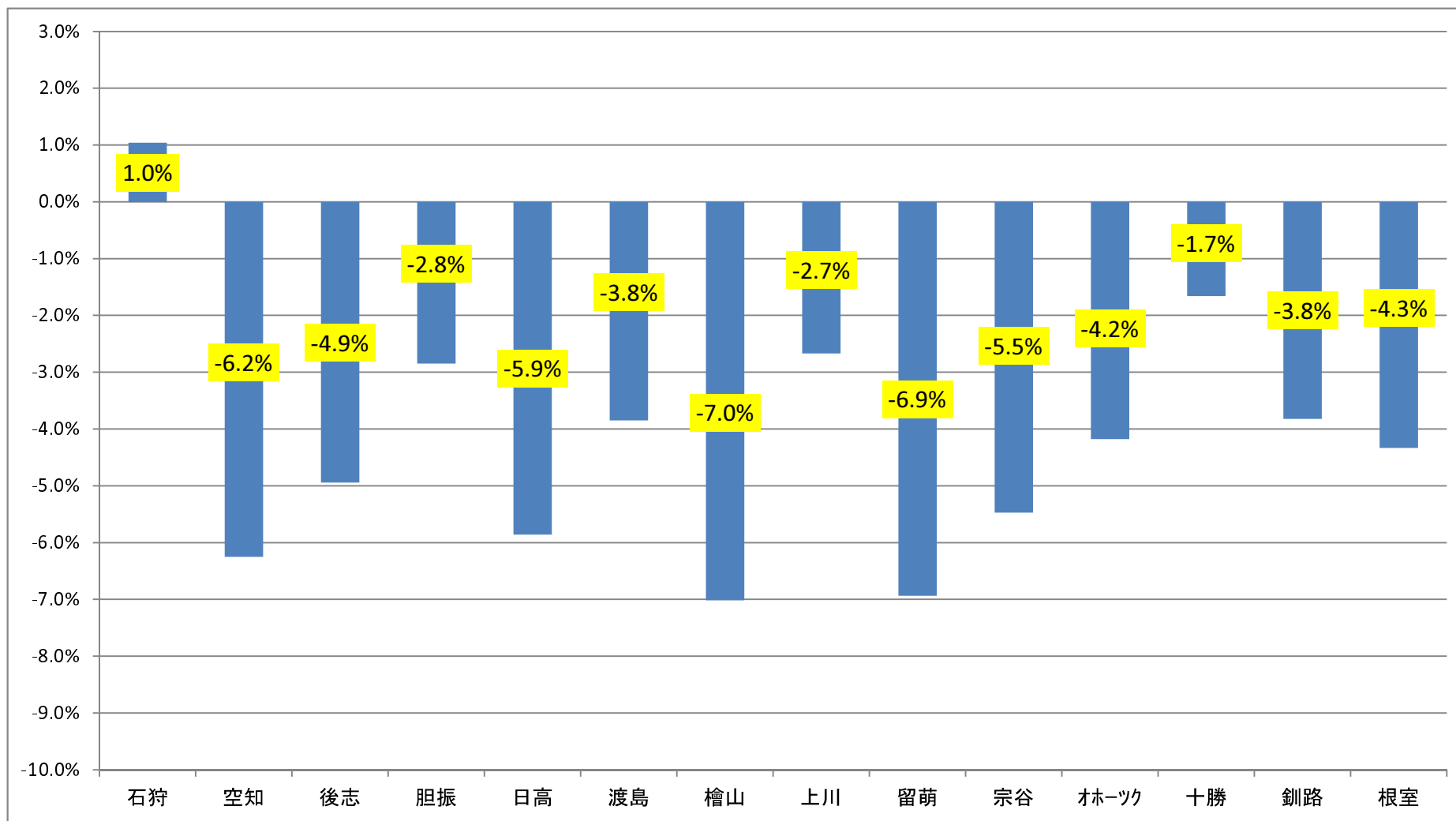
十勝管内人口の推移

十勝圏域の3区分人口



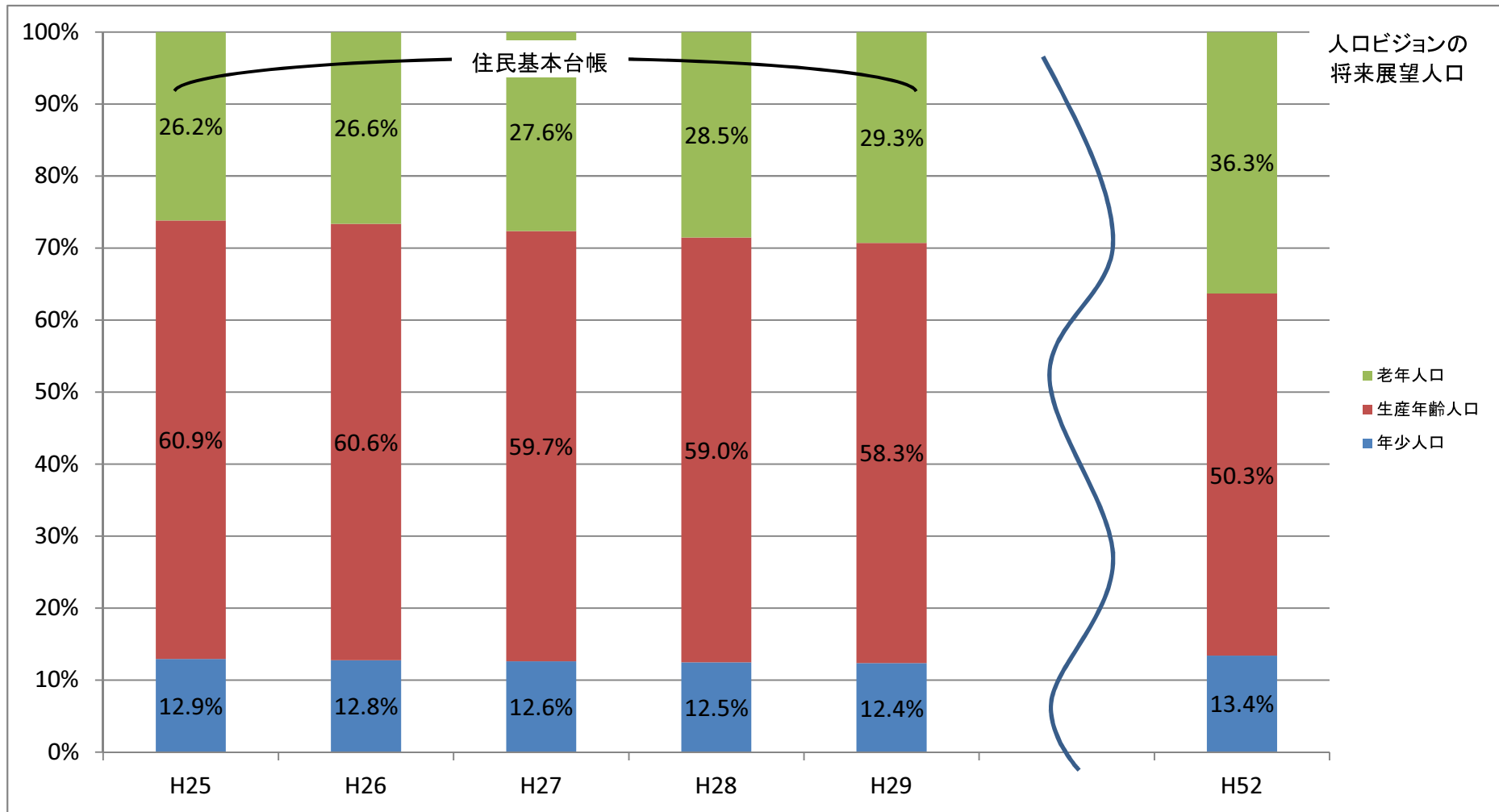
○年少人口(0~14歳)、生産年齢人口(15~64歳)が減少しているのに対し、老年人口(65歳以上)は増加。
 ○総人口の減少数及び減少率は徐々に拡大傾向。平成27年以降、生産年齢人口の減少率と老年人口の増加率はともに縮小してきている。

道内圏域ごとの人口増減率（H25→H29）



○石狩地域(+1.0%)を除き、道内各地域の人口が減少傾向にある中、十勝地域の減少率は最小の傾向にある。

十勝圏域の3区分人口（割合）



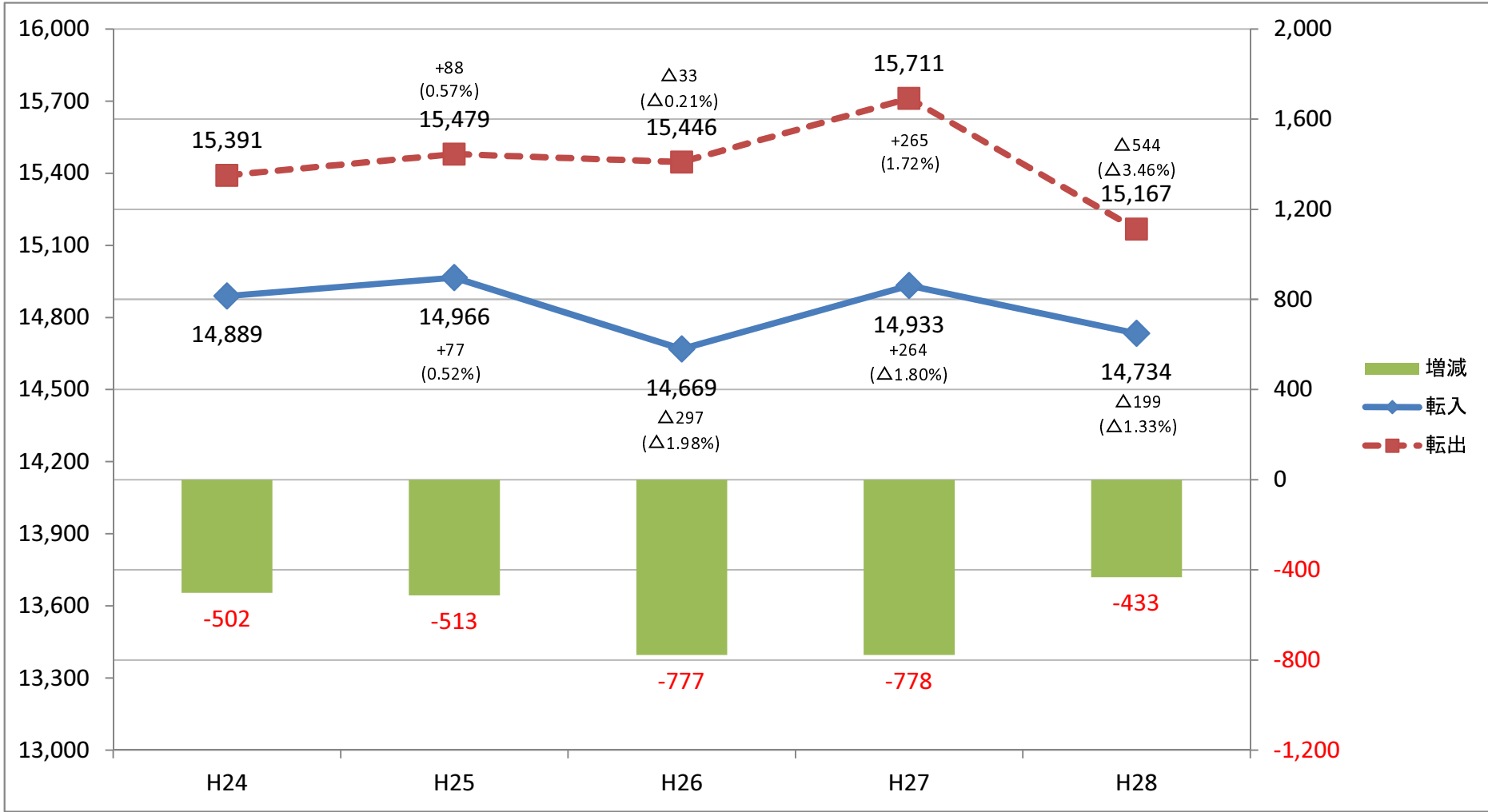
○年少人口(0~14歳)、生産年齢人口(15~64歳)の割合が低下している一方、老年人口(65歳以上)は上昇。

十勝圏域の自然動態（直近5カ年）



○出生数は減少傾向であるのに対し、死亡数は増加傾向にある。
 ○死亡数の伸びは鈍化の兆しが見られるが、出生数の減少幅は年により変動がある。

十勝圏域の社会動態（直近5カ年）



○転入者数は1万4千人後半で推移しているのに対し、転出者数は1万5千人前半で推移する傾向にあり、年平均400～700人台の転出超過となっている。

平成28年 十勝圏域の人口移動状況

(※カッコ内は平成27年数値)

○札幌市への流出が拡大、東京圏への流出は縮小。
○旭川・上川管内は、過去は流出が続いていたが、最近は流入の傾向。

